




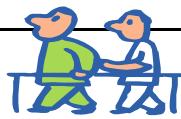



心不全の治療を受ける患者様へ

心不全パス【03006-00】

患者氏名： _____ 様 入院病棟： _____ 病棟 主治医： _____ 受け持ち看護師： _____ No1/1

	入院日～3日目				4～7日目				8日～14日目				15日～17日目			
	目標 毎日看護師と評価します	◆注射やお薬を使って心不全の状態が改善できるようにします。				◆心不全とはどのような病気か理解します。 ◆水分制限の必要性について理解します。				◆心不全の症状について理解し、ご自身でも観察できるようにします。 ◆食生活の注意点について理解します。 ◆薬について理解します。				◆生活の注意点を理解し退院の準備を行います。 ◆退院後、お薬を忘れずに内服できるように練習します		
内服・注射	必要に応じて、点滴や注射を行います。 				点滴や注射が終了したら、お薬に切り替え、病状の変化をみていきます				病状に応じて、お薬の調整を行います。 							
検査	入院日に心電図、入院日と3日目に血液検査、胸部レントゲンを行います。状態に応じて心エコー検査を行います。入院中は心電図モニターを装着します。				7日目に血液検査・胸部レントゲン検査を行います。 (心臓パンフレットP7) 				治療の効果を見ながら、血液検査やレントゲン検査を行います。 病状によって心不全の原因となる病気を診断するために、心臓カテーテル検査を行うことがあります。(P7～8)				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <退院基準> 血圧・脈拍が安定している 体重のコントロールができている 心不全の症状がわかる 退院後の日常生活のわからないことを聞くことができる </div>			
治療・処置	尿量を増やし、心臓への負担を軽くする治療を行います。呼吸状態によって酸素を使用します				血圧を調整し、心臓を守る薬を使います。呼吸状態によって酸素量を減量していきます。(P9～11)				呼吸状態を見ながら、酸素を外していきます。							
食事・飲水	食事は減塩食（塩分6g未満）です。減塩食を食べて塩分制限になれるようにしましょう。(P12～14) 飲水に制限があります 1日 (mL) までです。 がんばりましょう！(P19)												水の量を自分で測定し退院後にそなえましょう。			
清潔	状態に応じて、からだをふいたり、洗髪、シャワー浴をします。医師の指示によって個別に対応します。 体調が悪いときは、看護師がお手伝いさせていただきます。 															
排泄	状態により尿道に管を入れたり、尿瓶を使います。 				状態に応じてトイレまで車椅子の使用や看護師が付き添って歩行します。				入院中、1日の尿量を測定しています。 排尿のたびに尿をトイレにある袋にためます。							
安静・活動	状態が落ち着くまで安静が必要です。				状態を見ながらリハビリを開始し、行動の拡大を行います。 状態によって車椅子を使用します。				リハビリを進め、行動拡大を行います。 (P15～17) 				退院後の生活を想定してリハビリを行います。			
説明・指導	入院中は毎日体重測定を行います。下記に記入して下さい。 				心不全とはどのような病気か説明します。(P2～4) 入院前の生活について振り返り、心不全への影響について説明します。 水分制限について説明します (P19)				退院後ご自身で観察できるように、心不全の症状について、説明します。(P4～6) お薬の作用について薬剤師が説明します。(P9～11) 食事の注意点について説明します。(P12～14)				退院後の生活の注意点について説明します。 (P18～21) 必要な場合、栄養士から栄養指導を行います。			
体重測定																

注) 現時点で考えられる予定であり変更になることがあります